

案件化調査：福祉分野

スーダン 視覚障害者のための教育・就業支援案件化調査

企業・サイト概要

- 提案企業：株式会社日本テレソフト・株式会社地球システム科学共同企業体
- 提案企業所在地：東京都
- サイト・C/P機関：ハルツーム州、エル・ゲジーラ州、ゲダレフ州、カッサラ州・全国障害者評議会

スーダンの開発課題

- 視覚障害児者の教育機会の不足
(盲学校の数は少なく、インクルーシブ教育推進政策なるも通常学校での受入態勢が未整備)
- 視覚障害教育の質の不足
(点字教材等が不在で音声に過度に依存)
- 視覚障害者への就業機会・就職支援の不足
(教員等公務員になる道はあるが民間企業への就職機会は極めて限定的)

中小企業の技術・製品

- 「点字プリンター」 点字と墨字を同時印刷でき視覚障害者の教育支援に効果がある。多言語対応しており、欧米、中国などで活用されている。東京都ベンチャー技術大賞を受賞
- 「点字ディスプレイ」 視覚障害者のパソコン使用に必須の補助具で、小型軽量の機器として評価ある。各言語対応の機能を持つ
- 「拡大読書機」 弱視の人が目の症状にあわせて、文字を読むことをサポートする

提案されたODA事業及び期待される効果

- 視覚障害者のための教育・就業改善プロジェクト(技プロ)——点字教材等を活用した教育訓練の質の改善
- 視覚障害者のための教育・就業支援に係る民間提案型普及・実証事業——点字機器等の有効性を実証
- 青年海外協力隊(障害児・者支援、PCインストラクター、鍼灸マッサージ師等)——視覚障害者への直接支援

日本の中小企業のビジネス展開

福祉という限られた国内市場から脱却し海外市場への進出によって、経営を安定、発展させるとともに雇用、地域の海外進出との連携など行う。また、当社機器が、世界商品となるようなビジネスチャンスとする。

